

自己評価表

記入日：令和5年4月18日

所属：さんさんまりんこども園

名前：全18名（保育士・保育士補助・事務）

第1部 自らの資質能力

(18人) ✓してください

	○	△	×
1 自分は子どもが安心して、自分の思いや意思を積極的に言葉で話しかけることができるような親しみのある保育者だと思う。	78%	22%	0%
2 挨拶や感謝、お礼の言葉の中で、相手を気遣う言葉を素直に使えるように、保育者が送迎時に気軽に挨拶を交わしたり、職員間、保護者や子どもにお礼の言葉や気遣いの言葉などを日常的に使ったりして、温かな雰囲気を作っている。	95%	5%	0%
3 自分の言っていることややっていることを客観的に見直し、謙虚に反省することができる。	84%	16%	0%
4 保育に関する事務、業務など日ごろからコツコツと計画的に取り組んでいる。	62%	38%	0%
5 自分がやると決めたこと、引き受けた仕事は中途半端にせず、最後までやり切っている。	100%	0%	0%
6 相手の意見に耳を傾けたうえで、自分の考えや気持ちをしっかりと伝えることができる。	73%	27%	0%
7 園内で気にいらないことがあっても、相手のせいにししたり、たとえ相手に非があったとしてもそれを責め続けたりしない。	100%	0%	0%
8 自分のイライラした感情を子どもに当たったり、同僚にぶつかけたりしない。	100%	0%	0%
9 仕事上で迷ったり悩んだりしたとき、周囲の職員に助言や支援を求めることができる。	95%	5%	0%
10 仕事をするにあたって不安や迷いはあるが「とにかくやってみる」「頑張ってみる」という気持ちや意欲を持っている。	95%	5%	0%
11 保育はチームで行うものであり、必ずメンバーと連携し、報告や相談などの意見交換をしつつ実践している。	100%	0%	0%
12 様々なことに興味関心をもって、好奇心を持ち、創意工夫し、楽しんで自己研鑽している。	56%	44%	0%
13 今の仕事が楽しく、生き生きとしている自分を実感できている。	62%	38%	0%
14 子どもと一緒に活動を楽しみ、集中して取り組む姿を見せている。	95%	5%	0%
15 「言われていないから」「聞いていないから」「自分には関係ないと思ったから」など、自分の問題ではないという考えではなく、自主性・主体性を持って取り組むことができている。	84%	16%	0%
	○	△	×
合計を記入 (✓数)	85%	15%	0%

第2部 社会人としての常識やモラル 保育士としての基本姿勢

(18人) ✓してください

	○	△	×
1 提出物や行事計画の期限、出勤や会議の時刻を厳守している。	62%	38%	0%
2 同僚や上司の陰口や保護者の噂などを意識して慎んでいる。	100%	0%	0%
3 職業上、知り得た個人情報や他人に話したり、家族内での話題にしたりしていない。	100%	0%	0%
4 自分の都合だけ考えて、休暇やシフトを入れたり変更したりしていない。	95%	5%	0%
5 保護者や同僚に電話を掛けたりメール（ライン）を送ったりするとき、時刻や内容をしっかりと吟味し、相手に不快感を与えないよう意識している。	100%	0%	0%
6 子どもに指導や注意をするとき、怒鳴ったり怒ったりせず、丁寧に話して聞かせようと意識して実践している。	100%	0%	0%
7 子どものことを呼び捨てにしていない。	100%	0%	0%
8 保育中に携帯電話を操作したり、通話したりしていない。	84%	16%	0%
9 すべての保護者や子どもに公平・公正に（好き嫌いなく）接している。	100%	0%	0%
10 保育中の子どもの怪我の状況や体調の変化等を軽視せず園長や主任に常に伝えている。	95%	5%	0%
	○	△	×
合計を記入（✓数）	94%	6%	0%

※以下は乳児担当または幼児担当で選択して記入ください。

第3部-a 乳児から満3歳未満児の保育 【乳児担当】

(10人) ✓してください

	○	△	×
1 3歳未満児は、身体的発達、言語能力、自己表出の仕方が未発達であり、情緒の安定などを含めて大人への依存度が高いという特性を踏まえ、保護者と連携して食事、睡眠、排せつなどについて生活全体における細やかな指導計画を立てている。	90%	10%	0%
2 清潔を保ち、衛生的な場、明るさ、湿度、温度などに配慮し、子どもが安心して探索活動をしたり伸び伸びと体を動かしたりして遊べる快適な環境を整えている。	100%	0%	0%
3 発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、一人一人の状態に応じた活動が十分行えるよう配慮している。	80%	20%	0%
4 食事、排せつ睡眠、衣服の着脱、身の回りの清潔などの生活習慣の習得については、一人一人の状況に応じて、見通しをもって適切な時期に、わかりやすく手順や方法を示しながら、丁寧な援助をしている。	100%	0%	0%
5 欲求を受け止め、気持ちに寄り添いながら、温かな言葉のやり取りや触れ合いを大切に、愛着関係を築こうとしている。	100%	0%	0%
	○	△	×
合計を記入（✓数）	94%	6%	0%

第3部-b 3歳以上の教育・保育【幼児担当】

(4人) ✓してください

		○	△	×
1	3歳以上児は、組やグループなど集団生活での計画が中心となるが、一人一人のあ るがままの良さが生かされ、一人一人の主体性が重視されて集団の育ちがあるとい う視点で指導計画が立てられている。	75%	25%	0%
2	全身を使い、様々な遊びに挑戦し、生活の流れを見通しながら、身の回りのことを 自分から進んで行えるように、環境の構成や援助を行っている。	100%	0%	0%
3	一人一人が集団の中で認められ、その良さや特徴が生かされ自信をもって行動でき るように、子ども同士が刺激しあい、相互にモデルになるなど影響を与えながら、 育ち合えるクラスづくりを行っている。	100%	0%	0%
4	子どもが試行錯誤しながら、考えを巡らせる時間を十分に認め、せかすのではな く、時には保育者も一緒にじっくり考える時間を作っている。	75%	25%	0%
5	園生活には様々な決まりがあるが、守らないために起こる問題に気づき、必要性を 子どもなりに理解できるように援助し、そのうえで守ろうとする気持ちが持てるよ うに関わっている。	100%	0%	0%
合計を記入 (✓数)		○	△	×
		90%	10%	0%

		○	△	×
総合計を記入 (✓数)		○	△	×
		89%	11%	0%